

## 【南区】令和6年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和6年6月11日(火) 15時10分～16時00分
場 所	南区役所 7階 701～702会議室
出席者	<p>【座 長】 渋谷健議員</p> <p>【議 員：3名】 遊佐大輔議員(オンライン出席)、高田修平議員、仁田昌寿議員</p> <p>【南 区：24名】 高澤和義区長、濃野誠副区長、飯野真理福祉保健センター長、大塚貴司福祉保健センター担当部長、村上一徳土木事務所長、和田誠名南消防署長(災害対策担当部長)ほか関係職員18人</p>
議 題	1 令和6年度 南区個性ある区づくり推進費 執行計画等について
発 言 の 旨	<p>【高田議員】        先ず、7ページ「(1) みなみ桜まつり事業」について、今年も非常にたくさんの方に来ていただいたと思います。しかしながら、桜が咲く時期を予想することは難しく、今年は、桜が咲く時期が1週間くらいずれ込んでしまったので、桜が咲く時期に露店が撤去されていました。地域の方から、桜が咲いているのに屋台がないという声もあり、露店の出店についての対応など、教えてください。</p> <p>【中野 地域振興課長】        露店の出店について、これまでは来街者の増加やプロムナード周辺のゴミ、騒音等の問題もあり、近隣住民への配慮、桜の開花時期、イベントのにぎわい等を考慮して、桜のライトアップ、ぼんぼりが飾られている期間のうちの10日間を露天商の方に申請いただいています。今年は、例年よりも開花時期が少し遅かったのですが、事前に申請を頂いていたので、その期間になってしまいました。今後は、申請方法などを申請先であります警察や土木事務所とも調整し、露天商の方とも検討をしていきたいと考えております。</p> <p>【高田議員】        少しの期間しか桜は咲かないので、是非有効に、地域の皆さんが少しでも長く楽しめるように、南区からも露店の方に働きかけを行うことも検討してください。</p> <p>もう1点目が、10ページ「(5) 子育て支援講演会」についてです。講演会は9月開催ということですが、規模と、開催場所はどのような予定ですか。また、日時については、子育て世帯向けということなので、子育て世帯が参加しやすい日時を想定して行うのかについても教えてください。</p>

発 言 の 旨

【野池 学校連携・こども担当課長】

子育て世帯が日ごろ抱える悩みや疑問を解決する一助として、地域における子育て支援の充実を図ることを目的に、専門家の方をお呼びして、講演会を開催する予定にしております。開催時期は9月下旬で、30組程度の親子の参加を募集する予定です。市内各区でも講演実績のある、相武台中央幼稚園の園長の小山哲央先生を講師にお招きして、親子で過ごす時間の大切さや、ふれあい遊びを通したスキンシップと信頼関係といったことをテーマにご講演をいただく予定です。

【高田議員】

講演会はどのように市民に周知していくのですか。例えば、掲示版で周知するのですか。

【野池 学校連携・こども担当課長】

今後、ホームページ等で周知をしていくとともに、開始時期はまだ決まっていないのですが、「子育て応援サイト・アプリ」においても、この講座について周知していこうと考えております。

【高田議員】

子育て応援サイト・アプリは6月から始まるということで、是非、この講演会の周知に限らず、応援アプリと連携する事業をたくさん増やしていただきたいと思います。

最後に、21 ページ「(5) 学校を核にした多文化共生事業」についてです。この事業は「拡充」事業で、先ずは外国籍等の児童生徒が多い小中学校でプログラムを実施していくということですが、外国籍等の児童生徒が多くない小中学校でも、このような国際理解の交流というのは必要だと考えます。例えば、今年、外国籍等の児童生徒が多い学校で実施し、来年は今年実施していない学校で実施する考えもあるのか、今後の展開について教えてください。

【野池 学校連携・こども担当課長】

これまでは、学校の中に外国籍・外国につながるお子さんが10%以上在籍する学校を対象としていました。昨年度は、10%以上在籍する小学校は6校、中学校は3校ございまして、9校で実施をしました。今年度からはそれに加えて、希望のあった学校でも開催することにしており、現時点で、小学校3校、追加で実施する予定です。今後、パーセンテージにかかわらず、希望のあった学校で開催できるように考えていきたいと思っています。

【高田議員】

ありがとうございます。昨年、要望させていただいたことです。引き続き、パーセンテージに限らず、要望のあった学校、また、実施していない学校を中心に行っていただきたいと思います。以上です。

\*\*\*\*\*

発言の  
要旨

【仁田議員】

先ず、6ページ「(2) 魅力発掘事業」についてです。「新規」事業となっていますが、「みなみやげ」は平成27年に認定、「みなみのおすすメシ」は令和4年度に認定していますので、既存事業だと思いますが、「新規」事業として令和6年度に160万円を計上したのは、新たな啓発ツールを作成するためでしょうか。

【黒田 区政推進課長】

予算面で「新規」にしておりますのは、魅力発掘事業について、「みなみやげ」の追加認定による増で115万円、「みなっち」のPRツール作成による増で45万円、合わせて160万円、令和5年度予算になかったものとして「新規」で計上してございます。

【仁田議員】

啓発ツールはどのようなものをお考えですか。具体的な検討は進みましたか。

【黒田 区政推進課長】

啓発ツールについては、南区のマスコットキャラクター「みなっち」をより広く活用してもらえようというコンセプトで今年度順次検討を進めてまいりたいと考えております。

【仁田議員】

分かりました。今後、検討の進め方についてお知えてください。

次に、「(3) 魅力発信事業」について、新たにポータルサイトを立ち上げるとのことで、「さくら、商店街、歴史ある神社仏閣等」というのは、まさに南区らしいのですが、これまでも知られています。さくらといえば大岡川の桜は全国的に知られており、市内2大商店街に象徴されるようにもともと商店街の町であること、蒔田にもお城があったことは、すでに知られていることです。何か、新たなコンテンツをお考えではないのですか。

【黒田 区政推進課長】

魅力として発信する新たなコンテンツについて、今年度は、「みなみやげ」の追加認定や、これまで認定しております「みなみのおすすメシ」など、地元の良いところを改めてポータルサイトを通じて発信していくことで、新たな魅力として区内の方、区外の方へ知っていただきたいと考えております。

【仁田議員】

分かりました。今後の検討に期待をします。そういうのもあったのか、というものが何かないかと思えます。知恵を出して考えていただきたいと思えます。また何かあればご意見をしたいと思えます。

次に、10ページ「(4) 子育てオンライン相談事業」についてです。保育・教育のコンシェルジュによるオンライン相談の利用できる枠を1枠から最大2枠に増やす、とのことですが、既に始まっているという理解でよ

発言の  
要旨

ろしいですか。

【野池 学校連携・こども担当課長】

オンラインの相談については、昨年6月から開始しております。

【仁田議員】

ニーズをお考えいただいて、利用できる枠を2枠に拡充したと理解しておりますが、ニーズがあるのでしょうか。

【野池 学校連携・こども担当課長】

昨年度は6月から開始し相談実績は20件でございました。今年度4月から本日までの相談件数は5件でございます。電子申請システムでお申込みをいただいておりますが、そこでは電話、窓口に加えてオンラインの相談もできますということを周知させていただいております。

【仁田議員】

オンライン相談は今後もニーズがあるという実感をお持ちである、と理解してよいでしょうか。

【野池 学校連携・こども担当課長】

子育て世代のご家族の方がお見えになりますので、窓口だと落ち着かない等のニーズはございます。昨年度の予算で、オンラインで相談できるハード面を整えました。今年度は相談枠を広げることでより多くのニーズに応えていきたいと考えております。

【仁田議員】

分かりました。

15ページ「(3) 災害時要援護者支援事業」について、「地域で行われている災害時要援護者支援の取組事例」とあり、これは取組事例をまとめて、共有化しようということだと思います。要援護者支援というのは大きな課題であることは間違いなく、各地域で地震が起きる度にこの課題は地域に則した取組をしていかないといけないと思っておりますが、いつ頃、冊子を作成するのでしょうか。

【加藤 高齢・障害支援課長】

これまで、地域の方が実際に取り組まれている事例を講演会で発表していただいたり、広報よこはま等で紹介したりしてまいりましたので、それらを集約して冊子をつくらうと考えております。良いものにしていきたいと考えておりますので、年度末までに作成しようと思っております。

【仁田議員】

基本的な活用の仕方、有効的な活用方法を考えていれば教えてください。

【加藤 高齢・障害支援課長】

作成した冊子は、各自治会町内会に配布し、例えば研修会や講演会での

発 言 の 旨

活用や、協定が未締結の自治会町内会には、協定締結の勸奨等に活用する予定でございます。

【仁田議員】

分かりました。対応に関しては、地域によって高低浅深があつて、理解度も違いますし、活用の仕方もまだバラバラで平準化されていない気がします。冊子の完成時期を伺ったのは、タイミングもあると思ひまして。例えば、阪神淡路大震災の1月17日、3・11、防災の日の6月1日等の節目に区民の防災意識が高まる波がありますので、この冊子作成がフィットされるとより良いかと思ひました。活用面も含めて、大事な共通の情報だと思ひますので、よろしくお願ひします。

最後に、22 ページ「(1) 地域人材発掘・育成事業」についてお伺ひします。自治会の在り方など、皆さん、大変ご苦労されていて、役員のなり手・担い手の問題、地域行事、子ども会の消滅、長寿会をどうしたらよいのか等、課題が随分あろうかと思ひます。その中で、地区懇談会等で出された課題を解決に向けて支援をしていくということを目的とする講座を開催します、とありますが、いつ頃、お考えでしょうか。

【中野 地域振興課長】

現在、まだ地区懇談会を開催している最中であり、全部終了した段階で、地区懇談会の振り返りを行います。各地区とお話合いをするなかで、今後、実際に取り組んでいきたいこと、こちらからお話を持ち掛けますが、そういったところがあれば、随時講座を開催していきたいと考えております。

【仁田議員】

分かりました。そうしますと、講座「寺子屋みなみ」に参加される対象は地域、地区の役員でしょうか。

【中野 地域振興課長】

はい、そうです。地区懇談会の役員の方、また、そこに入ってくる新しい方も参加できます。今回地区懇談会に、役員ではない若い方が一緒に入っているような例もありますので、そういった方も一緒に参加していただけたらと考えております。

【仁田議員】

地区懇談会は、今後の活動に活かされる取組で非常に注目すべきと思ひます。役員のなり手・担い手の問題などは全市的な課題であり、2040年、50年といった、その時代の節目に向けて地域の支え合いが極めて重要な時代を迎えるなかで、大事な事業だと思ひますので、是非拡充できるように頑張っていただければと思ひます。以上です。

\*\*\*\*\*

【遊佐議員】

16 ページ、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成に向けたPRについてですが、先ずはやるよ、やるよ、ということを高らかに言っていないといけないと

発言の  
要旨

思います。子どもたちへのPRももちろん大事ですが、区役所に来てもらった方やイベントを通じて、どんどんPRした方が良いと思います。この事業は、さらに工夫してPRしていくという意味合いなのか、それともこれまで通りPRしていくという意味合いなのか、意気込みといたしますか、熱意を聞かせてもらえればと思います。

【黒田 区政推進課長】

今、お話いただきました通り、区庁舎や区の公共施設等でポスター掲示など、露出する機会をどんどん拡充しているところでございます。従来から取り組んでおります各種イベントでのブース設置ですとか、遊佐先生からもお話いただいた子どもに向けたPR、そういったことも織り交ぜながら、3年後に控えましたGREEN×EXPO 2027の開催に向けて、区としても精一杯取り組んでまいりたいと考えてございます。

【遊佐議員】

是非、進めてください、よろしく申し上げます。

執行状況とはあまり関係ないですが、バスの減便が年度明けから結構あり、区にとって何かできることはないでしょうか。また、区役所にも相当声が寄せられているかと思いますが、現状を教えてください。

【高澤区長】

バスの減便については、遊佐先生がおっしゃった通り、年度当初に行われまして、南区内でも相当の数が減便をされたと私も伺っております。特に現時点では、減便に対して地域の方からのお声というのは伺っておりません。減便に限らず、いかに交通手段を多様に確保するかという意味では都市整備局の地域交通や、南区内でもスーパーの方が車を出していただいて出前スーパーですとか、そういった活用をされていると私も聞いております。また地域の方のお声をお聞きしながら、局にも伝えてまいりたいと考えております。

【遊佐議員】

困っている方もいらっしゃいますし、これからバスの便が増えていく傾向にはならないと私は思います。区民の皆さんにとってはつらい状況が続いていると思いますので、区役所としても議論の土台に挙げて話を進めていただければと思います。よろしく申し上げます。以上です。

\*\*\*\*\*

【渋谷議員（座長）】

先ほど高田議員から質問がありました大岡川の桜について、露店はいろいろ届出等の関係や、次に行く場所が決まっているのでしょから、桜の開花時期と出店する日程がずれてしまっても次の場所に行かなくてはいけないことは分かります。今年は、露店がなくなっても多くの人が歩いていましたが、ライトアップが消えて真っ暗になっていました。せめて、ライトアップくらいは、時期を少し延ばすことはできないのかと思いましたが、いかがですか。

【中野 地域振興課長】

契約期間の問題がありますが、期間延長も含めて、今後、事業者と検討していきたいと思います。

【渋谷議員（座長）】

ライトアップは、警察や土木事務所の許可があつてやっているものですか。

【中野 地域振興課長】

はい、道路占用許可を取っております。

【渋谷議長（座長）】

区が許可を出しているのですか。

【中野 地域振興課長】

はい。

【渋谷議員（座長）】

区であれば、多少融通を効かせて、あと1週間延ばすこともできると思いますが、いかがでしょうか。

【三縄 土木事務所副所長】

道路占用申請があつた時期に対して、桜が咲く時期がずれてしまいましたが、延長の手続きに要する日数などをご提示させていただきました。今回は、出し直しの申請にはなりますが、ライトアップの再申請はありませんでした。

【渋谷議員（座長）】

それは、誰が申請しているのですか。

【中野 地域振興課長】

実行委員会が申請を出しております。

【渋谷議員（座長）】

桜の咲く時期は突然3日前などに分かるのではなく、1週間、10日前には分かりますので、少し期間を延しませんか、というようなアドバイスをしてあげても良いのではないかと思います。せっかく桜が満開になってきたのに真っ暗で、今年は本当に可哀そうでした。皆さん、真っ暗の中で文句を言いながら歩いていました。せめて、ぼんぼりのライトアップくらいは、少し早めに申請を受け付け、1週間程延ばしてあげれば良いと思います。

【高澤区長】

今年は1週間くらい、桜の開花時期とぼんぼりの点灯時期がずれてしまいました。ぼんぼりが点灯している時期には桜が咲いていない、ぼんぼり

の期間が終わるくらいから満開になり始めたという状況をどうしたら良いかと思っております。我々が実行委員会の事務局をやっておりますので、先生のご意見も踏まえまして、来年度に向けて検討してまいりたいと思います。また、ぼんぼりが点灯することによって地域の方への影響もございますので、地元の町内会ともお話をさせていただきながら、今後については検討させていただきたいと考えております。

**【渋谷議員（座長）】**

是非、よろしくお願ひします。

もう1つ、20ページ「(1) 区民意識調査事業」について、「新規」事業として今回初めてやりますとあります。政策経営局が毎年、「横浜市市民意識調査」を実施しており、我々も冊子をいただいています。かなり細かに、各区の調査が実施されているなかで、さらに250万円予算を計上して区民意識調査を実施する意味を教えてください。

**【黒田 区政推進課長】**

渋谷先生のご指摘のとおり、横浜市は毎年市民意識調査を実施しております。調査対象は、市内に居住する18歳以上の方で、抽出人数は5,000人、概ね2,000人程度の回答を得るといような調査の実施状況だったと思います。どうしても、区単位で割っていきますと、南区は200人程度の回答があるかどうかという状況になっています。今年度南区で実施します区民意識調査につきましては、無作為抽出で概ね18歳以上の男女3,000人の方を対象にしていますので、その回答が得られるものと見込んでおります。当然、市と区の比較ということで市民意識調査の調査項目と多少重複するところもございますが、区の実施する事業の評価等事業の見直しに使える項目も織り交ぜながら今年度実施しております。ちょうど5月末までの調査期間で実施していますので、現在、結果の集計中ですが、結果分析なども進めながら、今後の事業見直しや予算編成に繋げてまいりたいと考えております。

**【渋谷議員（座長）】**

分かりました。

最後に、23ページ「(1) 自治会町内会連絡調整事業」について、236万円を計上しています。「配布物等を各団体が指定する場所に配送します」とあり、年間236万円、8月、12月を除きますので毎月24、5万円を使っていることとなりますが、配布をしている人と配布場所を教えてください。

**【中野 地域振興課長】**

毎月行われている区連会の資料をお送りしていますので、区役所から配送を行っております。中身としては、各局の事業の資料ですとか、区の事業の資料もあります。

**【渋谷議員（座長）】**

誰が請け負って配送しているのか、配送場所と配布箇所数が分かれば教えてください。



**【中野 地域振興課長】**

運送業者に委託をしており、204 か所、町内会に配っております。

**【渋谷議員（座長）】**

配送業者に委託して月1回、204 か所に配達してもらっている、それが毎月24、5万円ということですね。分かりました。

\*\*\*\*\*